

## 南三陸町の志津川漁港で、仮設魚市場の稼働がスタート

「見える支援・速い支援・効果の高い支援」の第1号に。

公益財団法人ヤマト福祉財団（本部：東京都中央区、理事長：有富 慶二、以下：ヤマト福祉財団）  
「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金※」の第一次助成先の一つである「南三陸町・水産産業基盤施設緊急復興事業」は、助成金3億6,500万円を活用し、志津川漁港に仮設魚市場を建設中でしたが、10月21日（金）に完成し、24日（月）から稼働することを決定しました。

南三陸町では、助成金の申請時、国の基準では仮設魚市場や作業所などへの助成は認められていなかったため\*、早期復旧に向けて大きな困難に直面していました。宮城県一の漁獲量を誇る秋サケの漁期を目前にして、サケを水揚げする魚市場がなければ、漁の存続そのものが危ぶまれ、町内の経済循環の再生の目途が立たなくなってしまうからです。

今回、「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」助成金等を活用することで、魚市場機能の復旧にこぎつけ、サケ漁をはじめとする漁業活動や加工業の復旧にも弾みがつくこととなりました。なお、24日（月）には11:00よりオープニングセレモニーを、13:00より「初競り」を行います。

\*現在は第二次補正予算により仮設魚市場等への助成は認められています。

仮設魚市場の稼働開始決定を受け、南三陸町の担当課は次のように述べています。

「助成が決まった時は、正直助かったと思いました。ここでサケ漁を行えなければ、多くの人が町を去ることになるかも知れません。とにかくいまは生活を支える、働く術を確保する、復旧へのスピード感が大事です。その上で“復旧を復興に”変える方法をみんなと一緒に考えていきたいと思っています」（南三陸町水産振興係長・太齋彰浩）

南三陸町は、観光も含めた複合的な“海業（うみぎょう）による復興”を目指しており、今回の仮設魚市場はその第一歩となるものです。今回の助成金については、今後、漁船の確保や養殖したカキ、ワカメの作業場の建設にも活用していく予定です。

ヤマト福祉財団では今後とも、見える支援・速い支援・効果の高い支援に全力を挙げて参ります。

※「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」は、東日本大震災で被災された地域の生活基盤の復興や水産業・農業の再生を支援することを目的に創設されました。資金を提供するだけでなく、事業を進めていく過程も含め、いろいろな人がかかわる、復興モデルのシンボリック的存在を目指しています。詳細につきましては、ヤマト福祉財団のホームページ（<http://www.yamato-fukushi.jp/>）をご参照ください。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

公益財団法人ヤマト福祉財団  
南三陸町産業振興課

担当：早川・渡辺（03-3248-0691）  
担当：太齋（だざい）（0226-46-1378）